

【しらがね寮】

～あさぎり町福祉スポーツ大会～

去る10月30日(火)、しらがね寮グラウンドにて福祉スポーツ大会が開催されました。
 この大会は、あさぎり町社会福祉協議会の主催により地域の老人クラブや身障会、近隣の老人ホームと保育園等へ呼びかけて行われている毎年恒例の行事となっております。
 秋晴れの下、いろんな競技に参加しましたが、中でもパン食い競争は毎年大人気で参加した利用者は真剣なまなざしでパンに向かって一目散でした。今回も怪我なく地域の方々との笑い合いながら有意義なひと時を過ごしました。



【真和館】

～福井しあわせ元気大会2018に参加！～

平成30年10月14日に福井県で開催された「第18回全国障害者スポーツ大会オープン競技の部：卓球バレー全国交流大会」に参加しました。今年度は4月に開催された「第19回大分オープン卓球バレー大会」において、連戦連勝の山口萩：ひまわりチームを破り、更には、京都：西陣工房という強豪チームを破っての優勝でもあり、西ブロック連盟推薦チームとしての参加となりました。
 全国障害者スポーツ大会では、準決勝で宿敵の山口萩：ひまわりチームとの対戦になりました。大会関係者からも「事実上の決勝戦」と称された試合は、たくさんの観客が見守る中、張り詰めた緊張感でいっぱいになりました。試合結果は、残念ながらフルセットの末、敗れました。3位決定戦では、茨城県代表：れっつ・ごー！茨城！チームにセットカウント2-0で勝利し、見事「3位」になることが出来ました。閉会式では、賞状とお一人お一人に銅メダルの授与があり感極まるものがありました。
 このような状況下でも、入所者のみなさんは上手に感情のコントロールが出来るようになっており、普段見ることのない笑顔や一生懸命にプレーする姿にとっても感動した1日となりました。

【天草園】

～社会見学に行ってきました～



10月～11月にかけて社会見学を実施しました。今年度も、第1班(天草市内)・第2班(天草市外)の2班に分かれ、1班は天草下田温泉へ、2班は嬉野方面へそれぞれ1泊旅行を実施しました。
 1班は、要介護者も出来るだけ参加しやすいような近場と、食事を中心に喜んで頂ける内容で計画し、今年世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の崎津教会を見学、夕食は普段食べられない豪華なご馳走でとても喜んで頂きました。
 2班は、有田ポーセリンパークや祐徳稲荷、雲仙仁田峠の紅葉等の観光を中心に計画し、食事4食中3食をバイキング食とすることで、とても喜んで頂きました。
 しかし、利用者の平均年齢が70歳を超え、高齢化・重度化により参加者も年々減少傾向にあり、施設にとって大きな行事であるにもかかわらず参加者の割合がとても低くなっている現状にあり、今後更に高齢化・重度化する傾向の中で、いつまで続けられるかが大きな課題となっています。

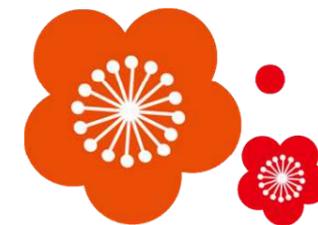
編集後記 2019年 1月号(No.33)

新年明けましておめでとうございます。新年を迎え皆様にとって良い年でありますようお祈り申し上げます。
 さて、救護施設職員として、今年で10年目を迎ようとしています。この間利用者さんからも数多くの経験・体験をさせて頂き今日があると思っています。今後も初心に戻り県内の救護施設職員の方々との交流をさらに深め、色んな情報を発信しながら自分自身も福祉人として微力ながら利用者支援に携わってまいりたいと思いますので皆様の御指導を宜しくお願い致します。寒さも一層厳しくなりますのでお体に気を付けてお過ごしください。
 「熊救協調査研究委員 坂口 浩司郎 千草寮」

編集：熊本県救護施設協議会 事務局：〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子3072番地
 調査・研究委員会 真和館 TEL (096)-279-1121
 発行：熊本県救護施設協議会 (096)-279-1122

熊 救 協

<http://kumakyukyo.sakura.ne.jp>



「救護施設が目指すべき将来像」の構築に向けて

熊本県救護施設協議会会長 藤本和彦

明けましておめでとうございます。みなさまには、平成最後の良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 また、昨年中に、熊本県救護施設協議会並びに県下7つの救護施設に賜りましたご厚情に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、本年もよろしくお願ひ申し上げます。
 さて、全国救護施設協議会の方針を受け、熊本県救護施設協議会(以下、熊救協という)では、「県下、7つの救護施設が一致協力し、これまで以上に、最後のセーフティネット施設として、その社会的使命・役割を果たすためには、どうすれば良いか」という検討が始まりました。その中で、救護施設は、地域で生活することが困難な方を福祉事務所から委託を受け、お世話するという措置施設である。まずは、福祉事務所と連携・連帯を密にすることが大事ではなかろうかという議論になっています。
 ところで、熊救協と福祉事務所との連携した事業としては、現在、第9回まで実施した「こころの病気」に関する熊救協の研修会に、福祉事務所の職員の皆様にも参加頂いている程度です。そこで、手始めに、この研修会を相互理解や意思疎通が図れるような研修会にしたらというアイデアも出されています。
 いずれにしても、救護施設は、「真に支援を必要とする人を確実に受け止め、最後のセーフティネット」として、社会や福祉事務所に役立つ施設をめざして精進・努力を重ねて参ります。変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。

～ 居宅生活訓練事業取り組み 千草寮 ～

千草寮では平成30年9月を準備期間とし10月から事業を開始しました。訓練用居住は千草寮から約4km離れた2DKアパートで、近くにはバス停、スーパーコンビニもあり買い物するにも便利です。
 今年度は男性2名の方が訓練を行い、規則正しい生活習慣を身に付けることを含めたステップ1では、月曜日から木曜日までアパートに泊り朝食のみ調理し昼食と夕食は施設にて食事するという形をとっています。午前中は施設内外の行事、作業訓練への参加午後は訓練計画に沿った訓練を行い、ステップ2では昼食、夕食もアパートで調理し摂って頂き、より社会生活に近い訓練を行い、ステップ3で公共交通機関利用や就労へ向けた地域移行を加速する訓練計画を進めています。
 訓練者の個性もあり日々試行錯誤していますが 本人様の地域移行への強い気持ちもあり専任職員をはじめ千草寮職員一丸となって支援に従事しているところです。



熊救協研修委員会 報告



第1回熊救協施設職員研修会
期日:平成30年7月26日(木)
場所:救護施設菊池園

昨年に引き続き、救護施設菊池園の地域交流室等をお借りして、県内7施設の職員30名の参加により、平成30年度第1回熊救協施設職員研修会を開催しました。

午前10時35分から昼食をはさみ午後2時までは、指導員・介護職員・看護師・栄養士及び調理員の4グループに分かれてのグループ討議を行いました。初めて研修に参加された職員からは、「各施設違いはあるものの、色々な意見や情報等を聞くことができ、とても勉強になった。」という感想や、何度か参加されている職員からは、「研修自体はマンネリ化があるものの、新たな気づき等があった。」という感想もいただき、中には討議時間が足りなかったグループもあったりと、それぞれのグループにおいて熱心な討議がなされました。

午後2時から、「最近の災害医療と平成28年熊本地震」と題して、川口病院 院長 川口英敏先生に講話をいただきました。

県北地域のDMAT活動拠点である川口病院で活躍されている川口先生から、平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」から平成28年に発生した「熊本地震」までの大災害において、災害医療をどのように展開してきたか、世界の災害医療の実状など、私たちがなかなか知ることができない医療現場の活動について、詳しくお話しいただきました。

災害はいつ起こるか予測できず、必ず繰り返し発生することを忘れることなく、若い世代にも語り継いでいかなければならないと感じました。



第2回熊救協施設職員研修会(第9回熊救協・九救協合同研修会)

期日:平成30年10月29日(月)

場所:くまもと森都心プラザ

毎年、第2回目の研修会は、こころの病気(精神障害)についての研修会として実施しており、今回は、九州各県の救護施設職員と関係機関職員から99名の参加のもと、「精神障害当事者の体験談と岡田教授との対談」の中で、終日貴重な話を聴くことができました。

講師として、アルコール依存症のピアカウンセラーとしてご活躍の、高尾 純子先生、統合失調症を抱えながら数多くの執筆活動をされている、森 実恵先生をお迎えして、それぞれの体験談をお話しいただき、講話後に鹿児島国際大学福祉社会学部 教授の岡田 洋一先生と対談をしていただきました。

発病後の自身の思考や行動、回復に向けての取り組みなど、発症した人でなければ分からない部分を詳しく聴くことができ、また、もっと掘り下げて聞きたい部分を岡田先生が聞き出していただいたため、これからの利用者支援における多くのヒントを得ることができました。

また来年度も、少しでも利用者支援の参考になればと研修内容を検討しながら開催いたしますので、多くの方のご参加をよろしくお願いいたします。



各施設トピックス



【千草寮】

～ストレッチ体操とリハビリ(認知予防)体操実施の効果・成果～

当施設では平成30年度4月から健康向上と少しでも長く自立した生活を続けて頂くために医務を中心にストレッチ体操と認知予防体操の取り組みをはじめました。当初、ストレッチ体操は指導するスタッフも見よう見まねで、利用者の皆さんの動きを見ながら指導方法を試行錯誤の日々でしたが、何より安全に楽しく続けて頂ける事が重要として取り組んできました。1年が経過した現在では一人ひとりにあった動きで実施することが出来ており、筋力、体力アップ、維持に効果も見られ日常生活をはつらつと送られていることを実感しております。また同時にクラブ活動の一環として認知予防体操も始動し、考えながら手足を使う体操や口腔体操を実践しております。「継続は力なり！」を信じて、今後も利用者の皆さんと共に取り組んでいきたいと思っております。



【友愛会银杏寮】

～平成最後の演芸会～



12月13日に、地域と同法人の友愛会保育園の園児を迎え、演芸会が行われました。大正琴の音色から始まり、職員と利用者交えての男性踊りと女性踊り、地域より踊りを披露していただきました。なかでも、人気の「U.S.A」の曲が流れると、園児も一緒に踊りとても盛り上がりました。また、水曜グループ(手話ボランティア)による手話と歌、手話での自己紹介のやり方を教えていただきました。後半には、年長の園児による歌と踊りは元気いっぱいでした。そして、園児に負けじと、サプライズに職員のみで「男の勲章」を踊り、利用者を驚かせました。最後には、サンタとトナカイが登場して楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

【菊池園】

～秋の旅行に行ってきました！～



菊池園では、利用者に日帰り旅行か宿泊旅行かどちらかを選択してもらい、10月は日帰り旅行で阿蘇郡西原村へ、11月は一泊旅行で鹿児島県へ行ってきました。日帰り旅行では「阿蘇ミルク牧場」にて動物たちと触れ合ったり、「依山交流館 萌の里」で心地よい風に吹かれコスモスを眺めたりしてきました。一泊旅行は利用者の要望により数年ぶりに復活したもので、「西郷どん大河ドラマ館」や「知覧特攻平和会館」を見学してきました。どちらも天候に恵まれ、思い出に残る旅行となりました。



【野坂の浦荘】

～梨狩りに行きました～

野坂の浦荘では、11月に選択レクリエーション(梨狩り)が行われ、人吉・球磨方面へ出かけました。天候にも恵まれて暖かい1日を過ごしました。利用者の施設生活の中で、旅行は最も楽しい行事の一つです。利用者の高齢化により参加人数が減少し、出来るだけ沢山の方に参加頂けるようにボウリング・グランドゴルフ・水族館・温泉等と、利用者のニーズに合った外出行事を計画し実施しています。今回は、農園の方のご協力により、園内を車椅子で使用させて頂き梨狩りを体験することが出来ました。日頃は、荘内で過ごしている入所者も青空の下を笑顔で楽しめました。梨は持ち帰り、食後のデザートとしておいしく頂きました。

